

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	平成30年2月27日(火)
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時30分
出 席 者	委員長 鈴木 宏通 副委員長 山岸 三男 委員 吉田 眞悦 委員 吉田 二郎 委員 佐野 善弘 委員 櫻井 功紀 委員 千葉 一男 議長 大橋昭太郎
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 高橋秀彰
協 議 事 項	・調査研究テーマについて
そ の 他	
閉 会	午前11時12分

2号様式 協議の経過

鈴木宏通委員長	<p>それでは、総務、産業、建設常任委員会を始めたいと思います。本日委員7人全員出席でございますので、本会は成立しております。</p> <p>今回、皆さまにお忙しいところお集まりいただきまして、本会の調査研究テーマについて皆さまにいろいろ配慮いただきますので、本当に御忌憚のないお話をいただきながら進めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。</p> <p>それでは、会議事項に移らせていただきます。研究テーマにつきまして皆さまに御意見を賜りたいと思います。皆さまに御発言をいただきながら進めたいと思いますけど……。（「皆様って言ったってわかんないから、一人ずつ聞いてください」の声あり）</p> <p>よろしいですか。では、一人ずつ。</p>
櫻井功紀委員	<p>研究テーマなんだけどさ、去年は農商工連携、その前は防災、原子力ね。その前と前は何をやったのか。ダブってしまうよりは……（「3年、4年前は記憶にないな」の声あり）</p>
鈴木宏通委員長	<p>私もその件につきまして調べましたけども、実際今の取り組みにテーマを設けて行っているという状況が、26年度からの取り組みになっておりましたので、その以前のテーマを設定して常任委員会を…ということになかった経緯がありましたので、その点お知らせをしておきたいと思いますが。</p>
櫻井功紀委員	<p>26年からのテーマは。</p>
鈴木宏通委員長	<p>原子力防災につきまして、（「ああ、2年間」の声あり）2年間行った経緯と、前回までは農商工連携を2年間継続して行ってきた経緯がありますので。</p>
櫻井功紀委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
鈴木宏通委員長	<p>それでは一人ずつお聞きしてまいりたいと思いますが、佐野さんのほうからよろしいですか。</p>
佐野善弘委員	<p>私は、こちらの常任委員会が分かりませんが、人口減少と若者対策ということですね。そこをテーマにしたらどうかということで、考えてきたところです。</p>
鈴木宏通委員長	<p>人口減少と若者…。</p>
佐野善弘委員	<p>定住対策。</p>
鈴木宏通委員長	<p>定住対策ですか。という御意見がございました。続きまして千葉委員お願いしてよろしいですか。</p>
千葉一男委員	<p>私たちの所管する問題は、財政の問題と少子化の問題、人口減少の問題とこういった……考えた場合に、そういう中でかなりお金の問題、従来の財産の管理、古いものを新しいものに、スクラップアンドビルドとこういう方向が急速に必要なってきていると感じています。したがって、会計も単式簿記から複式簿記に変わる時期に、そういう意味でスクラップアンドビルドとそれから財産管理についてテーマにしたらいかがかなと思います。</p>

鈴木宏通委員長	財産管理ですね。 櫻井委員のほうからどうですか。
櫻井功紀委員	私は、考えてきたのはちょっと外れてるんでないかと思うんだけど、所有権のない空き家空き地の対策について。これは町民生活課なんだよね。考えてきたけど、外してください。（「空き家対策ならいいんじゃないですか」の声あり） 所有権のない……。 （「空き家対策と大きく捉えれば……。 」の声あり） 一番困っているのは、所有権がなくて固定資産税も払ってないような荒れ放題の土地さ。それをもう虫とかねそういったのがついた。なんていうかな。すごいんだ。調べたんだけども、誰も調査する人がいないのさ。
吉田眞悦委員	所有権者不明っていうことでしょ。ないっていうことではなくて。
櫻井功紀委員	不明なんだね。（「相続っていうのは所有権がないと相続できない」の声あり）国のほうでは5年間だけ。（「10年だね」「10年で消滅」「空き家対策でいいんだな」の声あり）
鈴木宏通委員長	続きまして、吉田二郎委員お願いします。
吉田二郎委員	私は4年間別の所管のほうにいて、今回こっち側になったんですけども。テーマになるかちょっとわかんないんだけどね。今年の4月から主要農作物の種子法が廃止になるってある人から聞いた。種屋さんの社長さんとか。今回松田さんの農業構造改革に載ってた。それで私も実際気にしてなくて分かんなかった。ここで言われて初めて「えっ」というような。たしかに新聞、マスコミでは……出たんだろうけど、私も目を通さなかったんだかどうかわかんないけども、これが結局大変なことになりますよって、業者のみならず人間……、遺伝子とかいっぱい組み合わせるのもでてくるし。そういうのも勉強したいなと思っているんだけども。私の中でテーマになるかどうかわかんないし、別なところで勉強すればいいかなと思ってるし。一つそういうことを考えてきたんです。 あともう一つは、ブランド化。ブランド化って言われてきてるんだけども、結構……も出ないし大変な問題もあると思うんだけども。ブランド化、どうするかって。市場も潤っていく、町としても……生産者の人たちの生活も豊かになっていくし。そっちのほうも少しいろいろあって、でもなかなか今までいろいろ口に出てきてもなかなか実現されてこない部分もあるんでね。口で言ったって実際やってこなかった……。そっちのほうも2つっていうかな。そういうことを思ってきたんですけども。
鈴木宏通委員長	吉田委員の言ったブランド化に関して、これは先ほど前に言った農作物だけってことですか。農工商産物すべてにわたるものですか。それも含めてでよろしいですか。
吉田二郎委員	それで……問題でもないと思うんですけども。関連……。
山岸三男副委員長	どのようにまとめるの。

鈴木宏通委員長	<p>今のは農作物の種子法に関しての部分と、例えば農商工、町内なりブランド化をどのように考えるかというこの点をテーマに考える。ブランド化を進めるのにどうするかを考えたいということでしょう。(「2つということ」の声あり) 2つですね。</p> <p>では吉田眞悦委員の考えを。</p>
吉田眞悦委員	<p>財政絡みでね、今回の 30 年度予算はこれから出てくると思うんですけど、執行部側では組むのに大変苦慮したというふうな。毎年の事だけでも。そういうことが今後ずっと続くというふうになっていくんだろうな。なおさら町からすれば大型事業も学校統合関係で、保育所それからどうなるか分からないけども活性化施設の問題とかさ。広域での負担金の問題も当然、あとは社会福祉政策に関わる金の部分も年々増えていくということ。このまま町民の皆さんも町におんぶにだっこという考え方、おんぶにだっこ言うと失礼な言い方になるけども、そういうような考えではなくて、うちのほうの町でも一部の地域では行政区、自治会なりいろいろなパターンがあるんだと思うんだけども、地域自治というかそういうことで一生懸命やられている。自分たちの地域は自分たちで活性化を図ります。そういった自分たちで困ったときは助け合いましょう。防災も含めてね。</p> <p>ちょっと範囲が、さっき佐野さん出たように、若者の定住化策と同じような部分で教育、民生と絡む部分ということになるわな、結局。私が今言っている部分はさ。だからそういう地域自治ということについてももう少しやることに対して、単なる町としてこういうことをすればこういう補助金を出しますからという部分のみならず、結局地域の力、自治の力、地域自治の力ということをもう少し導かせるような方策を提言していくということも一つの方法かな。今後のためにだよ。</p> <p>だから、なおさら財政が逼迫しているというのうちの町だけではないんだけども、そういう関係上、冒頭に佐野さんから出たような少子化対策ということについても地域ということはどういうふうな仕事絡みでも大事になってくるのではないのかなと。これからますます。ずっと前から思っていたことなんだけども。一部、例を言えば青生地区なんかは一生懸命そのようにやろうとしている部分もあるわけだから、うちの町でもさ。その他にもあるんだろうけども。強制的に頭ごなしに上から押し付けるやり方というのではなくて、その地域の良さそれぞれの取り組みを引き出させるなんらかの方策というのも考えていくべきではないのかなと思うので。そこのところいかがなものかなというふうに思ってます。</p> <p>難点はね、教育、民生絡みの部分も当然出てきてしまうのさ。地域自治というそういう取り組みにも入ってくるからさ。だからそのところも含めないとちょっと無理になってくるかなという思いもしてるんだけどさ。議会全体で取り組むならいいんだけど。そのところ整合性とか協調性をとりながらやっていければなと思ってるんだけど。</p>

	はい、そういうことです。地域自治の充実ということですよ。
鈴木宏通委員長	地域自治に関しましての今の御提言でしたけども、では、副委員長お願いします。
山岸三男副委員長	私はね、美里町の喫緊の課題というのは、さきほど千葉さんが財産管理という大きな枠で言いましたけども、それも当然入るんですけど、いわゆる老朽化対策です。今言った各地域のコミュニティ、昔の公民館、あるいは集会所、それぞれみんな老朽化しています。橋、まだ修理できていない土側溝。本町の本来の課題というのは今言った老朽化対策。人口減少。若者定住。待機児童。待機児童に関しては、今もう土地を求めて建物を建てる。あるいは民間委託っていうことで方策はもう目標が決まっていますからいいんですけども、私が一番懸念するところは老朽化対策です。これは一年一年おけばおくほどボロボロになっていきますから。これを町では当然私たちが示しているのは維持していくか、完全に壊して新しく作るか、あと2、3種類の提案をして進めていくと示してありますけども、果たして町の執行部だけに任せておいて、そのとおりでいいのかと私は懸念しているの。私たちが研究テーマで財産管理っていう大きな枠で言えば、それを具体的に橋だとか公民館、集会所。それぞれ全部私たちここで調べ上げて、どこを優先的に、あるいはどういうふうに維持管理していくのか。そういうことを研究テーマにしたらいかなと私は思っています。皆さんが今おっしゃったように、これも空き家対策も入るだろうし、財産管理も入るし、人口減少も。大きい枠で言えば、今吉田眞悦さんが言ったような地域自治にも関わりますんで、そういう意味ではただテーマのお題目をどういう名目にするかだけで、皆さんに総合的な意見を聞くと考え方は皆さん同じような考えしているのかなと思うんで。私は、老朽化対策を研究テーマにしたいと思います。
鈴木宏通委員長	公共施設っていう限定でいいですよ。公共施設、公共物を含めて施設老朽化に対する対策をどのように進めるかということですね。
千葉一男委員	公用物だよ。公用全部だよ、今の話だと。
鈴木宏通委員長	では、私の方の考えてきたところは、3点ございました。 先ほど佐野さんの言った人口減少対策を含めて、櫻井委員の言った空き家対策を含めて、空き家対策と人口減少対策ということで空き家対策をどうやって利活用していくかということをも1点考えてみようと思ったのが1つ。 あとは、これからの公共交通網の整備について、今の高齢自動車運転者の交通事故軽減、そして免許返納制度がありますが、これに対応すべくこれからの方策を考えたい。デマンドタクシーと地域タクシーの2つを使いましての両立、地域タクシーを生かしての、例えば他の地域で行っていますフリーパス制度や減額利用などをこれからのタクシー利用ということで考えたいなと思っているところがありました。 あともう1点は、やはり今自然エネルギーの地産地消の推進というこ

	<p>とで再生可能エネルギーの推進そして太陽光発電のこれからをもっともっと進めるべく町としての取り組みを考えていけないかというので3点考えてきました。</p> <p>皆様から今いただきました人口減少と定住化の推進。財産管理につきましての部分。空き家対策。種子法を含み農作物のこれからのことを考えてどのようにいくか。農商工産物に関してのブランド化を進める。地域自治をどのように進めていくかという点に関して。施設老朽化対策として町としての公用物、公共物をどのように管理していくかという点。私の、公共交通網の整備。空き家対策と人口減少対策。自然エネルギーの地産地消の推進という点で、9点のテーマが今皆さまより各委員から御提言ありましたけども、この9つのテーマをどのような形で1つに絞って研究テーマとして考えていくかということをお皆さんの御意見をもって進めたいと思います。実際今、財政関係の財産管理及び施設の老朽化というのも同じような観点でございますし、また、地域自治含めて財政の形からも捉えることができるでしょうし、減少と定住化につきましても空き家対策ともリンクする部分があるかなと。</p> <p>休憩を申し上げて、みなさんで自由な討議をここでしたいと思っておりますがいかがですか。(「はい」の声あり)では、休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午前 9時48分 再開 午前10時10分</p>
鈴木宏通委員長	<p>再開をいたします。</p> <p>まず最初に私のほうの訂正を行いたいと思います。さきほど私が常任委員会のテーマを26年度からと申しましたが、24年度からに修正させていただきます。よろしいですか。(「はい」の声あり)お願いします。</p> <p>続きまして、もう1度テーマのほうに戻ってまいりたいと思います。皆様から御意見いただいた部分、それと今皆様のお手元にあります議会報告会等の皆様からいただきました御意見等を含めまして、皆さんに見ていただいておりますけども、この中で出ておりますところでは空き家対策を含めてこれからの対策をどうするかという御提言。あとは公共交通網に関しましてはデマンドタクシーということで挙がっております。交通弱者を含めてということではよろしいかと思っておりますが、力を入れるべきではないかというところがございます。エネルギーに関しましてはこの1点だけですけども。</p> <p>この皆さんの議会報告会での声をいただきながらテーマ設定を考えていくかどうか。皆さんにお諮りをいたしますが、千葉さんいかがですか。(「何が」の声あり)今のこのテーマ…。</p>
千葉一男委員	<p>言えない。ただものの整理の仕方として何に向かってやるかなんですよ。取り組みなんて言ってもね。経験を踏まえて言うことは使いながらこう絞っていくという手法はあるよねってぐらいしか今は言えない。</p>
鈴木宏通委員長	<p>分かりました。ありがとうございます。 はい、吉田委員。</p>

吉田眞悦委員	<p>先ほどもちらっと、休憩中の話なんであらためて申し上げますけども、この各委員会のテーマの設定にあたっては、1つは陳情、請願、そういった関係から吸い上げますよというのが1つ。もう1つは議会報告会で出された町民の意見の中から吸い上げましょうというのが1つ。もう1つはその委員会の委員さんのいろんな考え方を基にテーマを設定しましょうというその3つがある。うちのほうの取り決めね。テーマの設定にあたってはということで。その3つの中からということでテーマを設定しましょうということで今まで6年間来たわけです。</p> <p>それで今皆さんから出していただいたそれぞれの項目は、同じ項目が誰もない。いろんなそれぞれのね。良いことだと思いますよ。本当にいろんな考えをもって取りかかるということについては大いに結構なことなんで。それで、ただ合わせて今まで陳情、請願とか議会報告会の中からとるとということについては、私の今までの感覚からすればなかったのかなと思っているんで。今回議会報告会の町民の意見ということもかみ合わせれば、初めに皆さんから出された、9項目ぐらいあるのかな、それにあてはまるものというふうに両方マッチするということになるのと空き家対策関係、人口減少の部分ということになるのかもしれないけども。あとは、公共交通対策についてというあたりが両方にマッチするのかなというようなことになろうかと思うんで、それらに絞ってもう少し議論してみたいかがでしょうか。</p>
鈴木宏通委員長	<p>ただいまの御提案ですが、人口減少に若者の定住化推進に関する部分。あとは公共交通網の整備についての、議会報告会からの皆さんの声を最大限活用しながらこの2つのテーマで絞っていったらどうかという御提案でしたが。皆さんのお考えを。</p>
櫻井功紀委員	<p>今吉田眞悦委員が言ったとおり陳情、請願も去年のやつをテーマの1つに選べるのではないですか。陳情、要望も出てましたよね。今3つの方法があるって言っていましたよね。陳情、請願、要望の中から。2点目は議会報告会での課題。3つめは各委員から出たテーマ。その中からどのようにして収集するかについては、陳情、請願、要望になんかも去年の一年間。そんなになんかあったか。3つくらいしかなかったかな。いらんかったらいらんないでいいんだけどな。</p>
吉田眞悦委員	<p>今櫻井委員から言われた部分も確かにそのとおりなんです。まさにね。ただ、出してみないことには分かんないんだけど、私の記憶では陳情、請願。請願っていうのは下水道の絡みではありましたけども。それ以外のは皆国絡みのものなんですよね。国とか県とか。だから、町で解決できる部分ではなかったのかな。ただ、その1件だけは……。それをあらためて取り入れるかということは。また新たな問題が。(「やめたほうがいいんじゃないか」の声あり)</p>
鈴木宏通委員長	<p>では、先ほど櫻井委員から陳情、請願につきましては今後のことも期待しながら考えるということで、今回は見送ってよろしいですか。(「はい」の声あり)</p>

	<p>それでは先ほど吉田委員の方から御提案ありました、ある程度2つに絞って考えていってはどうかということで、議会報告会などでのいろいろな提案がありました2つということで人口減少と定住化のこと。もう一つは公共交通網のことに关しまして絞っていってはどうかという御提案がありました。これに关して皆さんの御意見を求めたいと思いますが。</p>
吉田眞悦委員	<p>2つやるってことではないよね。それをまた絞っていくってことでしょ。一応ノミネートしたのはこうだよ。</p>
鈴木宏通委員長	<p>それで皆さんどうかなと思って。その2つのノミネートに关して御意見を賜りたいなと。</p>
山岸三男副委員長	<p>確かに人口減少と若者定住化対策というのは近隣町村どこでもやってるんだ。だいたい補助金だとかみんな同じような対応をしています。加美町かどこかで造成したところ300万……すぐ売れたとかね。それも件数にすると6件の話であって。近隣町村で同じようなことをやっている対策に我々が取り組んで結局は近隣町村からの引っ張り合い。「おらほの町、おらほさ来てけらいん」ってみんな同じことやっているんだけど、果たして同じことをやってどうなのか。あるいは同じことをやるにしてももっと特化した補助金をばんばんつぎ込むとかさ。1人産んだら1千万出すだとかさ、そんな政策、極端な話だけだ。</p> <p>そういうテーマで取り組んで近隣町村で同じことをやっているのをいわゆる二番煎じになるわけさ。だからどうなのかなと。美里町に特化してこの人口減少や若者定住対策。それを一生懸命考えたとしても、一番は答えはほとんど分かっているんで。企業誘致して若者がそこに定住して働き場所をつくるのが一番良い話なんだけど、御存じのように美里町には企業誘致、ここ何年もどこも来ていないし。呼んだって来ないし。土地もないし。高いし。ほぼ答えが出ているわけさ。そこに2年かけてまたこの対策に研究テーマとしてやってもどれだけの効果、どれだけの結論が出せるのかなと私は疑問を感じますね。</p> <p>むしろ美里町に直結する対策をするのであれば、一番みんな町民が困っているのは今空き家対策、空き地対策。あとは今言った交通網の関係。美里町だけじゃなく近隣町村みんな高齢化しているけど、ごみも出せない、一人で。バスに乗るのも大変。そういうことを考えたならばむしろ空き家と交通、そっちの方をどのようにしたらそれをある程度解消できるのか。そっちの方がいいんじゃないかなという気はするね。私の意見です。</p>
吉田二郎委員	<p>どこの自治体も同じようなことをやっていると言われるけども、まちづくりをするためにもどこの自治体も同じような……。やり方はどこの自治体も大体同じようなことだと思うんです。その中でそれをどういうふうにして。まあ結論的には、人口が多ければ越したことはないんですけど、人口減少対策が大きな問題で、そのためにはとにかく人を呼んでこなくちゃならない。そうすると他の自治体も何を特別特化したも</p>

	<p>のを、平均的なもののやり方もあるだろうし、あるいは特化して「この町はこんなものを、こんなものにとても強い町だよ」って言われるためには……部分もあるかもしれないけど。一番は財源体制って言ったら大変なので、いろいろな手法だと思うのさ。だから最初からどこも同じことをやってるんだから、やんなくてもいいってことではないんでないか。その意見っていうのは私としては違うんでないかなと思って今言ったんだけどさ。</p>
佐野善弘委員	<p>私も今、二郎さんが言ったようにどこも同じということではないと思うんです。美里町は美里町の特色がありますので。一番の特色は鉄道が通っているというような、そこが一番の強みになりますので。あとは山が無くて平地だということですので。そういうことを本当は一番売り出してもらいたいんですけどね。</p> <p>土地的には今度中学校の関係でそういうふうなまとまった空き地も出てくると思いますし。その辺を含めながら定住化、人口減少。空き家とかっていうのはやはり高齢化社会の一番の問題だと思うんですけど、その辺ではなくもっと未来志向で若者の対策というようなことを私は打ち出したほうがいいんじゃないかと。だから全部が同じような対策ではないと思うんですが、その地域地域に合った対策というのはあると思いますんで。例えば今回去年富谷町が市になったというのは仙台に近いから。あと例えば北部工業団地に近いから、というような特色で。あと山とかを調整して、団地を造成してふえたってこともありますけど。やっぱりその地域その地域による特色をどのように発信していくかというところで人が集まってくると思いますんで。その点を、美里町としての特色をどう出すかということが一番重要だと思っておりますので。そういうようなことで考えたほうがいいんじゃないかと私は思います。</p>
鈴木宏通委員長	<p>今、御意見がありました。先ほど来、人口減少、若者定住化推進についての発言を皆様にはいただいております。その中でもいろいろと含める部分、含まれてくる部分、あとは町に対しての提言がどこまで出来るかというところと、今佐野委員が申したとおり、オリジナリティを出して美里町らしさを追求すべきかという……。今、2つのテーマから絞るという形をとっておりますが。(「ちょっと休憩していただいて」の声あり) はい、休憩します。</p>
	<p>休憩 午前10時26分 再開 午前11時00分</p>
鈴木宏通委員長	<p>再開いたします。</p> <p>引き続きまして、研究テーマにつきまして皆さんにお諮りをいたしますが。今回の研究テーマにつきましての部分は「人口減少と定住化の推進」ということで空き家をふやさない対策及びその不動産の部分も含めまして研究テーマの中に入れて考えていくということをテーマに据えていきたいと思いますが、このテーマでよろしいですか。(「はい」の声あり) 副委員長、いいですか。</p>

山岸三男副委員長	人口減少と……。 「若者」は入れないの。
鈴木宏通委員長	一応外したつもりで……。 「定住化の推進」ということで。(「人口減少と定住化の推進ということね」の声あり) はい。あとはその副題としてということではないですが、空き家をふやさない対策を含めその対策を考えてまいりましょうということを今のところ考えて……。 その中のこれからの進め方、そしてどういうことを重点的にしていくかというのは、今後また討論を委員会の中で決めていく方向で。そして、佐野委員から御提案があった部分、千葉委員のお話、吉田委員、櫻井委員、副委員長のお話を含めながら、きょうの話を総括しながら定住化についてのまとめを次回まで副委員長と私の中で精査しまして、その中で話をさせていただきながらあとは皆さんの御提案をもって進め方、その中身の……。 ついても話し合いたいものですが、よろしいですか。(「はい」の声あり)
櫻井功紀委員	1つ確認しますが、我々の研究テーマは「人口減少と定住化の推進について」という大きな考えでよろしいですね。あと細かい部分については委員長と副委員長で相談してまた会議にかけてくるということね。
鈴木宏通委員長	はい。もちろんそのほかにも皆さんからの御提言をいただきたいと思えます。足りない部分も多々あるかと思えますので。きょうの話し合いの中の空き家をふやさない対策だったり、空き家のいろいろな部分を利活用する部分も含めまして、この定住化の促進についてある程度絞った状態で話し合いを進めていかないとテーマがあまりにも大きいので、これから各論的な部分を絞ってまいりたいと思えますがいかがでしょうか。(「よろしいです」の声あり) 副委員長よろしいですか。私と一度話し合いをさせていただいて。
吉田眞悦委員	これから……。、まず正副委員長さんたちでもう1回精査してということだと思っんですけども。基本的には政策提言活動を1年、最初から2年じゃなくて1年というのが基本ですから。それでどうしても1年で終わらない場合は2年ということなんで。その基本的な1年ということも踏まえてまず考えていただいたほうがいいのかと思うんです。
鈴木宏通委員長	ありがとうございます。
山岸三男副委員長	今、吉田眞悦さんが言ったことは、実質3月からスタートして来年の3月まで報告書を出すという目標ということでもいいのかな。
吉田眞悦委員	その前にということだね。だから、今までも結局2年かかったテーマというのも数々あるんだけど、それは1年では結果を見いだせないということで引き続き次の年度もというのがやり方なのね。最初から2年で納めましょうということではないということね。
山岸三男副委員長	31年の。目標は3月。
鈴木宏通委員長	年度内でしょうから。
吉田眞悦委員	目標としては12月中に。(「12月か。そこまでに提言を」「30年の12月」の声あり) 今は通年議会なんでね。12月が目標だけど例えば1月とかそういうこともないわけではないけども。あくまで目標というのは12月議会ということ。

鈴木宏通委員長	<p>それでは再度確認したいと思います。テーマにつきましては「人口減少と定住化の推進」そして各細目というのは、空き家をふやさない対策を考えてまいりたい。さらにその中の各論といたしまして副委員長と話し合いを進めながらこれから皆様に……いただくということになります。</p> <p>次の常任委員会ですけども、3月中、議会が終わりまして、一応予定が22日ですかね。次の週に開催の予定を組みたいと思いますが。行事の都合等もあるかと思うんで、あとは事務局と相談してその週のというところで。何日と決めてもよろしいですか。</p>
吉田眞悦委員	<p>その前にさ、3月会議の中でテーマを決めて、結局は議長からの口述の中で「なにになに委員会はなにになに」ということで今年の提言活動のテーマをそこで決めるわけさ。正式にね。だからその前に結局は今後3月会議が始まって、当然今までの例のとおり特別委員会に予算案が付託されてそれをまた分科会審査というやり方になると思うんで。その中のころ合いを見て、今正副委員長にということ、きちっところ合いを見て委員会をしないと。きちっとした提言のね、できないんで。最低限3月議会中はころ合いを見てその予算審査だけじゃなくてね。この辺についてはもう1回話をしてね。</p>
山岸三男副委員長	3月議会中に……。
吉田眞悦委員	<p>3月議会中に提案するんだからね。総務、産業、建設常任委員会は今年度はなにになにについてということできちっと議長に対して出さなきゃならないんだから。それをきちっともう1回固めることをもう1回やらなきゃいけないですよということを言ってるのさ。</p>
鈴木宏通委員長	<p>予算審査の合間に……。 (「その合間でいいよ」の声あり)</p> <p>はい、わかりました。</p>
吉田眞悦委員	<p>早く終わる日があるだろうからさ。それでいいですよ。(「はい」の声あり) 俺が委員長じゃないから整理するわけじゃないんだけど。</p>
鈴木宏通委員長	<p>それでは、今の吉田委員の御提言を受けまして会議中、予算審議中にもう1度この場所をつくりまして皆さまに常任委員会のテーマを確認していただきながら中についても精査していただきたいと思います。よろしいですか。(「はい」の声あり)</p> <p>では、御協力いただきます。あと、何か……。副委員長いいですか。事務局から何かないですか。休憩します。</p>
	<p>休憩 午前11時09分</p> <p>再開 午前11時11分</p>
鈴木宏通委員長	<p>再開いたします。</p> <p>今回のテーマにつきまして確認するのは次の常任委員会で……ということにしまして、今回は案ということできいろいろ進めてまいります。今後のスケジュールや進め方につきましても会期中の話し合いの場をもちまして進めてまいりたいと思います。よろしいですか。(「はい」の声あり)</p>

	では副委員長、閉会の挨拶をお願いします。
山岸三男副委員長	初めての総務、産業、建設常任委員会、新しいメンバーでの常任委員会1回目の会議でございます。皆さんの忌憚のない御意見をいっぱいいただきまして、研究テーマとしましては「人口減少対策と定住化の推進について」ということで決まりました。あとは空き家をふやさない対策という内容で、具体的なものについては委員長、副委員長で内容を精査させていただきまして次の3月議会の中でもう1回常任委員会を開くということで進めさせていただきます。本日は大変御苦労さまでした。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成30年2月27日

総務、産業、建設常任委員会

委員長